

◆発行日 令和4年8月19日

◆発行者 味間地区まちづくり協議会

丹波篠山市立四季の森生涯学習センター内 TEL/FAX 079-506-1165 E-MAIL:ajima.machikyo@iris.eonet.ne.jp 火・金曜日 午前9時~午後1時



●連絡先

味間のようす

人 口 9,544人(男4,596人 女4,948人) 世帯数 4,224世帯 (令和4年7月末現在)

令和4年度 あじま修徳塾

次代へ未来へつなごう~味間の魅力~

味間地区まちづくり協議会では、 平成28年度から味間地区の皆さんが味間地区の歴史・自然・課題などを学ぶ「あじま修徳塾」を開講し、少しづつですが、まちづくりの輪を広げています。

そのようななか、令和2年早々から感染が広まった新型コロナウイルスの終息が未だに見えないなか、ニューノーマルと言われる新しい

生活様式が浸透してきています。

さらに、毎日、テレビや新聞などで報道されるウクライナの悲惨な状況には、だれもが心を痛め、いま一度、平和の大切さを考えなければなりません。

令和4年度あじま修徳塾は「次代へ未来へつなごう~味間の魅力~」をテーマに、改めて日々の暮らしを見つめ直し、平和で、住みよい、暮ら

しやすい味間地区をめざそうと開 講しましたので、その概要をお知ら せします。

なお、当初、4回の講座を予定していましたが、第4回「味間の自然・歴史・伝統に触れる~文保寺谷・二村の森の見学&お寺体験~(7月23日)」は申込状況と新型コロナウイルス感染が拡大しているため、取りやめました。

第1回

開講日

令和4年7月8日(金)

講師高橋 勝さん (丹波篠山市向井)

戦争を2度と繰り返してはならない



高橋勝さんは1926年生まれで、現在は丹波篠山市向井在住。昭和20年に陸軍航空士官学校を卒業後、現在の中国東北部に渡り終戦。同年10月から昭和22年10月までシベリヤに抑留された経験をもたれています。

終戦が迫る日本での空襲体験、終戦後のシベリアでの捕虜としての想像を絶する厳しい生活の数々、平和の大切さをしみじみと話され、2度と戦争はしてはなならないと力強くお話いただきました。

第2回

開講日

令和4年7月12日(火)

講師 室谷悠子さん (一般財団法人日本熊森協会会長)

内 容 クマの棲む豊かな森を 次世代へ



室谷悠子さんは、中学生のとき、日本熊森協会の活動に参加し、現在では同会の代表を務められています。

日本熊森協会は、クマをシンボルに奥山保全・再生活動に取り組む日本で唯一、全国組織を持つ完全民間の実践自然保護団体です。

室谷さんは、野生動物がすめる豊かな森の再生活動として放置人工林の天然林化、森や動物の危機的な状況などを分かりやすく伝え、解決方法を考える子どもの育成などを丁寧に説明いただきました。

第3回

開講日

令和4年7月19日(火)

講師田林信哉さん

(Satoyakuba代表)

内 容

私たちの「郷」を後の 世代に



田林信哉さんは、和歌山県生まれで、2005年、総務省に入省。2016年~2017年、福島県南相馬市の副市長として原発被災地からの復興と再生を推進、2020年に総務省を退職後、兵庫県や丹波篠山の文化観光まちづくりに携わっておられます。

地域にとってかけがえのない誇りの醸成に直接、携わり、「郷」に関わりを持ち、居場所としての「郷」を繋いでいく大切さ、こども食堂の活動などを話されました。

立地適正化計画 の取り組みに 学 湯

西条駅周辺のまちづくり《広島県東広島市》

東広島市は、昭和49年に4町合 併で誕生、平成17年にはさらに5 町が合併し、新しい東広島市が発 足。面積は63.516ha、人口は 196.608人(平成2年国勢調査)で

東広島市では、都市計画マス タープランをさらに具体化するた め、「立地適正化計画」を策定し、市 街地部(拠点地域)の機能再編に 関する方針を定めています。その考 え方は「居住」と「都市機能(医療・ 福祉・商業等)を交通利便性の高 い地域に誘導し、市街地に集約化 し、持続可能な利便性の高いまち をめざしています。

西条駅周辺では、十地区画整理 事業、都市計画道路、都市再生整 備計画、道路美装化などに地域と ともに取り組まれています。



▲溝端会長のあいさつ



▲地域住民も同席いただきました



▲東広島市での説明のようす



▲ J R西条駅

東広島市・柳井市の立地適正化 計画を視察研修して

- ■東広島市は、丹波篠山市と比べ、 人口規模などが大きいと感じた が、今後の指針としては参考になっ た。
- ■少子化、高齢化、人口減少など丹 波篠山市と同じような課題を抱え ており、駅周辺整備が人口減にど のように作用するかは大変興味が ある。
- ■東広島市では、公共交通の駅を 中心に人が集まる場所を整備する ことによって、人やモノの流れが変 わってきたことは大きな成果であ り、長期の計画が実を結んでいる と思う。

- ■駅を中心に歩いて暮らすことの できる都市誘導区域、その周囲に 居住区域を設定しており、理想的 な姿である。公共交通の核となる 西条駅を中心にインフラ整備され ていることは素晴らしい。
- ■東広島市も柳井市も、JRの駅 をまちづくりの中心に据え、公共交 通の充実と歩いて暮らせるコンパ クトシティをめざし、時間をかけて 取り組まれている。
- ■立地適正化計画では、駅やバス 停から徒歩圏内など、具体的な距 離を定めて利便性の高いまちをめ ざしている取り組みはとてもよい。
- ■東広島市は、道路、公園、広場な どを整備し、そこに美術館やホール を誘導しており、歩きたくなる駅周

辺や中心市街地の取り組みは大変 参考になった。

- ■西条駅周辺を歩いてみて、駅周 辺の開発や整備、ホテルやさまざ まな施設の配置がうまくできてい ると思えた。
- ■西条駅周辺の酒蔵のまちは、新 幹線や高速道路から少し離れ、古い 町並みが残り、昔、栄えたまち、鉄道 とともに発展したまちだなぁと感じ た。昔の篠山口駅を思い出した。
- ■柳井市は、丹波篠山市と人口規 模が同じであり、駅周辺整備や立 地適正化計画の策定など参考にす べき点が多くあると感じた。
- ■東広島市の説明は具体的でわか りやすかったが、市の規模が大き

味間地区まちづくり協議会では、毎年、市外への視察研修を開催しており、令和元年9月10 日に丹波篠山市に提出しました「JR篠山口駅周辺地域整備計画の策定と土地利用規制緩和 の検討について(要望)」をさらに具体化していくため、7月1日(金)~2日(土)広島県東広 島市と山口県柳井市を訪問しましたので、その概要と参加者の感想や意見を掲載します。

柳井市立地適正化計画《山口県柳井市》

柳井市では、居住機能や医療・ 福祉等の立地、公共交通の充実 に関するマスタープランとして、 令和4年3月、柳井市立地適正 化計画を策定。将来都市像「今あ る柳井らしさを大切に守り、価値 や力をみんなで育てていくまち」 を実現するため、3つの基本方 針を定められています。

都市機能を維持・集積する

ことにより「都市の魅力」を守 り育てる

- 高齢者や子育て世代など様々 な世代が集まって、豊かに暮らせ る「居住環境」を守り育てる
- まちなかの人口密度を高め、安 全で安心な「生活空間」を守り育

今後、この方針のもと、具体化に 向けて取り組みが進められます。



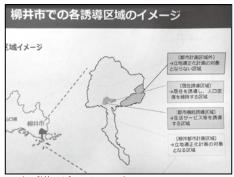
▲柳井市の説明



▲柳井市での意見交換



▲立地適正化計画のめざすところ



▲各誘導区域のイメ-

いので、そのままJR篠山口駅での 開発計画に移すのはむずかしいの ではないかと思う。

■柳井市の立地適正化計画は教科 書的でわかりやすく仕上げられて いる。

視察研修を終え、JR篠山口駅周辺 活性化に向けて出来ることなど

- ■市役所、まちづくりに関わる人が 駅前を良くし、にぎわいをつくり出 そうとする心意気を感じた。私たち も行政と地域住民が一緒になり、 それぞれの良いところを出し合う ことでまちづくりができると思う。 ガンバロー。
- ■駅周辺の整備は、行政、学者、関 係機関などがつくりあげた計画に、 地元住民、市民がどう関わるかで

決まると思った。

- ■丹波篠山市でも、もっとハラを 割った論議が必要だ。市は、若者代 表などの提案・意見で駅の活用策 を出している。地元が行政に押しつ ける時代は終わった。東広島市で の交流のまとめでもある「行政だ けではダメ、地域の人とつくってい くもの |という観点が大切である。
- ■駅の周辺整備はとても大きな課 題であり、国の方向も研究しながら 取り組むことが重要であり、これか らは住民パワーをどういれるかが 大切だ。
- ■丹波篠山市にはJRの駅が5つ もあり、もっとJRと連携したイベ ントや駅の有効活用で活性化を 図ってはどうか。(デカンショ祭、陶

器まつり、丹波並木道中央公園な どのイベントと連動)

- ■JR篠山口駅周辺について、今後 10年先のあるべき姿を全市民に提 示し、広く意見を募集する。そして、 コンセンサスを得て、実行に移す。
- ■JR篠山口駅周辺の整備につい て、駅前はトンネル、道路、施設整 備など。長い計画で、いい案をつく り、住民、市、JR、県などとのすり あわせが必要。
- ■1日も早くJR篠山口駅東口周辺 の活性化を!
- ■丹波篠山市で取り組みはじめた JR篠山口駅周辺まちづくり会議 は、もっと地域住民の意向を聞い て進めてほしい。







アレコレ味剤

あじまの話題とお知らせ

■メダカの会・納涼&鑑賞会を開催しました

味間地区まちづくり協議会・メダカの会では、市立四季の森生涯学習センター東館玄関で7月27日(水)、「納涼&鑑賞会」を開催しました。

当日は、味間の黒メダカが集まり、メダカや写真の展示、鑑賞会、メダカの譲渡などの催しがあり、多くの親子連れらが参加しました。





■JR篠山口駅と周辺の未来 創作絵画コンクール2022

味間地区まちづくり協議会では、 将来を担う子どもたちから、「JR 篠山口駅と周辺の未来」をテーマ に創作絵画コンクールの作品を募 集しています。

JR篠山口駅やその周辺が、どんなふうになったらうれしいか、楽しいかなど、自由に描いてください。

応募対象

丹波篠山市内に在住または通学 している小学生・中学生・高校生

締め切り

令和4年9月13日(火)必着 提出先

味間地区まちづくり協議会事務局

■味間小学校の行事案内

味間小学校では、次のとおり、運動会、オープンスクール、音楽発表会を開催します。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観覧は保護者のみで一般観覧はできません。ご理解のほど、よろしくお願いします。

1 運動会

日 時 令和4年9月17日(土)

場 所 味間小学校グラウンド **2 オープンスクール**

期 日 令和4年10月6日(木)

3 音楽発表会

日 時 令和4年11月4日(金) 場 所 味間小学校体育館

上記の行事は感染状況によって変更する場合があります。なお、11月の資源回収、12月の三世代交流行事は中止です。

■丹南中学校の行事案内

丹南中学校では、次のとおり、体育大会・文化祭を開催します。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観覧は保護者のみで一般観覧はできません。ご理解のほど、よろしくお願いします。

1 体育大会

日 時 令和4年9月10日(土) 午前8時40分~

場 所 丹南中学校グラウンド

2 文化祭

日 時 令和4年10月22日(土) 午前8時40分~

場所丹南中学校体育館

あじまフォトコンテスト2022

作品募集

テ-マ 探そう!見つけよう! 味間の魅力と良いところ

■一般の部

デジタルカメラ等で撮影した写真を持参 または郵送して応募

■インスタグラムの部

instagramでアカウント名
「ajima.machikyo」を検索し、
「#あじまフォトコンテスト
2022 | をつけて投稿



AJIMA.MACHIKYO

《応募期間》令和4年10月4日(火)~12月20日(火)

《表彰》

最**優秀賞** 2点(一般1点・インスタグラム1点) (賞状・賞品)

優秀賞 4点(一般2点・インスタグラム2点) (賞状・賞品)

入 選 10点以内 (一般・インスタグラムとも5点以内) (賞状・賞品)

参加賞 応募者全員









広報部会協力者・ 原稿募集 広報部会では、広報紙「夢あじま」の編集・発行にご協力いただける方を募集しています。 また、掲載希望原稿も随時募集していますので、事務局(506-1165)または広報部会長・稲山悟 (090-8828-5251)までお気軽にお問い合わせください。お待ちしています。